

Welcome to
TOEFL Mail
Magazine!


Happy New Year!
2003

TOEFLメールマガジンにご登録
いただいている皆様、あけ
ましておめでとうございます。

TOEFL事業部では、今年も皆
様にとって参考になりそうな
情報をどんどん提供してい
く予定であります。

皆様には、引き続きTOEFL
メールマガジンをご愛読下
さいますよう、お願い申し上
げます。

国際教育交換協議会(CIEE)
日本代表部 TOEFL事業部



メールアドレスが変
更になった方は、こ
ちらのアイコンをク
リックのうえ、ご連絡下
さいますようお願いいた
します。



メールマガジンに登録する

巻頭特集：「大学トップに聞く！」シリーズ第5弾

防衛大学校 西原 正 校長にインタビュー

少子化が進む日本の教育社会において、国際化を掲げて改革を図る教育機関も少なくありません。本シリーズでは、特色ある大学のトップの方に、大局的な視点から大学の運営方針、指導方針、授業の改善などについてインタビューさせていただいた内容を紹介しています。今回は、防衛大学校を取り上げました。卒業生のほとんどが自衛隊の幹部として活躍し、その活動は国際社会への大きな影響をもたらしています。日本の国際化に急務な英語教育に関して、学校としての取り組みを西原校長に伺いました。

好評連載：言葉の玉手箱

ETS公認コンサルタント 川手-M 恩 先生による言葉の新発見

英語に限らず外国語を学習していると、言葉の世界の奥深さに気付かされます。古来の日本人は言霊（ことだま）と評して、言葉には霊が宿り、見えざる力を働かすのだと考えました。使い慣れた短いフレーズの中にもコミュニケーションを左右するほどの力があるのです。ご好評頂いている連載「言葉の玉手箱」では、ETS公認コンサルタントの川手 ミヤジェイエフスカ 恩先生が、異文化間コミュニケーションにおける言葉の使い方の重要性に焦点をあて、興味深く解説してください。言葉の世界の面白さをお楽しみください。

TOEFL®受験者インタビュー

一般にTOEFLの受験者は海外留学を目指してTOEFLを受験する方が多いのですが、今回の受験生は、純粋にご自身の英語力を測る目的でTOEFLを受験されています。けれども、やはりその先には日本を飛び出し、海外へはばたく夢をしっかりと持っていらっしやいました。目標に向かって1歩1歩チャレンジを進める彼のバイタリティに眩しさを感じているうちに、インタビュー時間はあっという間に過ぎていきました。

TOEFL®教育者セミナーのご報告2

TOEFL事業部では、7月に東京で好評を博したTOEFL-ITPセミナー「変わる英語教育—その現状と課題」を全国展開すべく、TOEFL教育者セミナーシリーズとして、札幌・大阪・福岡・名古屋の4都市において開催いたしました。各地域の大学・高等学校の英語科の先生方や教育機関の関係者など、熱心な参加者の皆様の英語教育に関する情報交流の場として有意義にご活用いただけたのではないかと思います。前号の札幌・大阪セミナーに引き続き、今回は福岡・名古屋でのセミナーについて報告いたします。

日本縦断-TOEFL®セミナー実施報告

今春、TOEFL事業部では、財団法人日本国際教育協会（AIEJ）主催の海外留学フェア（東京・神戸）および日米教育委員会（JUSEC）主催のアメリカ留学相談会（全国6都市：札幌・仙台・名古屋・京都・福岡・沖縄）にて、TOEFLセミナーを開催いたしました。2002年5月30日以降、一部コンピュータ版テストセンター閉鎖、ペーパー版TOEFL代替実施など目まぐるしく環境変化があったにもかかわらず、海外に夢を馳せる受験生は、常に前向きでTOEFLに関する情報収集に取り組んでいました。

ここでは、TOEFLセミナーにていただいた質問を紹介するとともに、各地域の様子などをレポートいたします。

必見！耳より情報：

TOEFL事業部では、月に2度東京（青山）にて行われているコンピュータ版TOEFL定例セミナーの際、また日本各地で開催されたTOEFLセミナーにご参加いただいた方々に、TOEFL CD Sampler（定価\$18：サンプル問題67題含む）を無料にて配布しております。この度、CD Sampler保有者733名のご協力のもと、このCD-ROMに対する率直な感想を集めてみました。まだお手元にTOEFL CD Samplerをお持ちでない方は、ぜひご参考になさってください。

防衛大学校 西原 正 校長

少子化が進む日本の教育社会において、国際化を掲げて改革を図る教育機関も少なくありません。本シリーズでは特色ある大学のトップの方に、大局的な視点から大学の運営方針、指導方針、授業の改善などについてインタビューさせていただいた内容をご紹介します。

今回は、防衛大学校をとりあげました。卒業生のほとんどが自衛隊の幹部として活躍し、その活動は国際社会への大きな影響をもたらしています。日本の国際化に急務な英語教育に関して、学校としての取り組みを西原校長に伺いました。



防衛大学校長 西原 正 (にしはら まさし) 氏 プロフィール

【経歴】

昭和12年8月生まれ。

昭和37年京都大学法学部卒業、法学士号取得。

昭和43年米国ミシガン大学大学院政治学修士号取得。

昭和47年政治学博士 (Ph.D.) 取得。

昭和48年京都産業大学助教授、昭和50年同大学教授、昭和52年防衛大学校教授。

平成5年防衛研究所第一研究部長兼防衛大学校教授、平成9年同大学校教授
社会科学教室主任を経て、平成12年防衛大学校長に就任。

この間、オーストラリア国立大学国際関係学部客員研究員、米国ロック
フェラー財団国際関係部門客員研究員。

平成13年9月小泉純一郎首相の私的懇談会「対外関係タスクフォース」
*メンバー

*わが国の対外関係に関する情報提供・助言の委嘱

1番目に防衛大学校の立場からこれからの大学の在り方について、2番目に国際という切り口で防衛大学校がとっている方法、最後に卒業生へのメッセージをお願いします。

防衛大学校の特色

西原 一般の大学と防衛大学校は違う点はいくつかありますが、一つの大きな違いは防衛大学校にははっきりした目的があることです。卒業生は自衛隊の幹部になること、そして自衛隊という組織を動かすためのリーダーになる人を養成する大学です。一般の大学はそれぞれ法律とか語学などを学習して、あとはどこに就職しても結構ですとなりますが、その辺で一般の大学とは違います。

それではなぜ自衛隊の幹部に大学教育が必要かということになります。日本の国の平和や防衛という考えにあたっては、やはり広い常識や教養が必要です。国の歴史や伝統文化の理解、自然科学の知識などが必要ですが、高等学校だけでは不十分です。特に大学で修得したいのは広い知識、基本的な知識、柔軟な思考力を持つことが考えられます。それは大学でやらないとだめだと思います。ゼミで

先生と議論するのもいいし、自分が書いた論文の間違いを先生に指摘、修正される過程を通してそのような思考の訓練ができます。将来の自衛隊の幹部、リーダーにもぜひ必要ですね。自衛隊の役割もどんどん変わってきますし、社会のニーズや世界の安全保障情勢も急激に変化する時に、柔軟な思考を持って自衛隊がどういう役割を果たしていくか考えなければいけない。その点で大学教育は重要です。

2番目には、世界の優秀な軍隊の幹部は大学教育を受けています。米軍の将校は7割ほどMA（修士号）を持っています。日本の自衛隊のMA保持者はまだ4～5%です。そういう面でも将来日米同盟で更にさまざまなことを協議していく際に教育レベルが同じであることが重要です。大学院教育を受けるための基礎をきちんとやるためには、まず大学教育が重要です。社会のリーダーは一般的には大学教育が必要ですが、自衛隊のリーダーも当然必要です。大日本帝国の海軍や陸軍の士官学校と我々の防衛大学校学生は、大体年齢が合います。昔の士官学校は軍人精神や戦闘技術を教えるところでしたが、今は一般の大学教育、普通の教養教育、さらに専門教育を加えて教えているわけです。

今の日本の大学でここ10年程「やはり教養教育が重要」というように教養教育の見直しが進んでいますね。専門教育はむしろ大学院でやればいいという方向に変わっています。防衛大学校も教養教育を重視の傾向を持っています。理工系でも社会科学系でも学生全部に歴史・英語・コンピュータなど、広い分野での教養教育を推奨しています。

■ 今後の動向

特に私立大学では「生き残り」をかけて独自の特色の創造、優秀な学生の確保、特色を持った学生の育成に力点をかけた学長の意欲が伝わってきたのですが、防衛大学校ではこの点どのようにされていますか。またMA保持者の割合が米国と日本とですでに差がついていますが、今後どのように体制の強化を考えていらっしゃいますか。

西原 非常に関心を持っている点が二つあります。一つは少子化傾向が進んだ場合その影響が我々にあるかどうか、もう一つは国立大学が独立法人になった場合その影響が我々にあるかないか。後の問題の方が心配なんです。

最初の方は高校卒の学生の数が減ると一般の日本の大学は二極化します。一流大学の東大等は引き続き問題なく必要な学生は入ってくる。ところが二流以下の大学は、高校卒業生数が少ないわけですから入ってくる学生の数も少ない。すると競争率が徐々に下がるからあまり勉強しなくても入れます。できない大学はさらに学力が低い学生が入ってきます。また定員割れが心配だから学生を入れるとますますレベルが低下する。こういう風に二極化しています。

防衛大学校は現在幸いに割合上の方にいますが、一生懸命食いついていかないと倍率が下がります。全体の幹部の数が毎年これだけ必要となると、いやでも学生をとらなくてはならない。すると学力の低い学生を取らなくてはならない心配がありますから、そうならないように努力しなければならない。そのためにどうしたらいいか。一つは社会が変わっていくこと、日本で自衛隊の社会的な地位が向上し、自衛隊はいい仕事だと思えば多くの人防衛大学校に来ます。もう一つは防衛大学校に行くといい勉強ができるんだという研究環境、勉強環境の整備。この二つをきちんとやれば優秀な学生がきてくれると思います。社会が自衛隊の地位を高くすることは我々だけではコントロールできませんから、社会が変わることを期待します。例えばPKOでしっかりやる、自衛隊の役割という需要があることを皆が思ったり、このリーダーになることはすばらしい、国を守ることはすばらしいとってくれたりすればいいですね。勉強の環境をよくする方は、防大に普通の大学と変わらない実験装置があり、英語教育がきちんとして、防大に行けばけっこういい大学教育が受けられるんだなと思えばいい人が来ます。

国立大学が独立法人になった場合の影響の方が心配です。国立大学が独立法人になったときの様子はまだ良く見えないところが多々ありますが、彼らなりの夢を描くところです。文部科学省の影響や規制にとらわれず、大学の先生は自由に企業と組んで、民間・産学協同みたいな形で、研究資金をたくさん使えるでしょうから研究がしやすくなる。今までは勤務時間が決められていてなかなか自由になれなかったのが、自由に兼業、兼職ができる形になる。また一般の大学自身、経営も一般企業を経営すると同じように儲かることをやろうとして、伸びる先生には高給を払う。そういう大学が多くできると、防衛大学校の先生は防衛庁の規制の中に入っていますから、あそこの国立大学へ移った方が自分のペイが良くなりそうだ、研究環境が良くなりそうだと言っているでしょう。これが心配です。防衛庁に、この状況に対して防衛大学校はもっと一般の大学と変わらないように、企業との共同研究ができるようにしたほうがいい、と言っています。

面白い視点ですね。初めてお聞きしました。防衛大学の年間予算はどのくらいですか？

西原 数字は不確かですが、年間に170億円くらいです。学生は国家公務員ですから一人毎月12万円弱の給料を払います。1600人程度学生がいます。

我々入学試験と言わず採用試験といいます。国家公務員採用です。防衛大の学生は給料をもらっていますから勉強するのも訓練を受けるのも義務です。一般の大学生は授業料を払っているので「授業を受ける権利」とサボる自由もあると言えます。

一般の大学と防大の違いがもう一つある点は、「知・徳・体」つまり知育、徳育、体育です。一般の大学は主として知識を授ける知育です。防衛大学校は知識を授け、体力の増進、体育もやると同時に徳育も重要です。リーダーはどういう責任を持つべきか。国を守るリーダーは勇気が必要です。またリーダーの人格が良くなければ人はついてきません。他人への思いやりなどを一生懸命教育します。たとえば全員学生舎に住み、朝は6時半起床、夜寝るまで規律のある生活を送ります。運動も、全学生が体育部に入らなくてははいけません。運動部に入ることによって上下関係ができ、それから一緒にチームでやることの訓練を受ける。上級生は下級生が従うために自分はどうかあるべきかを自然と身につける。12ヶ月のうちの1ヶ月は休み、8月は夏休みで、3月もあまり授業はないのですが10ヶ月のうちのふた月分くらいは訓練です。夏1ヶ月は訓練です。それから学校が始まってもところどころ1週間ほど訓練があります。運動、勉強以外に軍事訓練があります。体力テストみたいなものです。全学生8キロ遠泳、グループマラソン、夜間行進の練習など。リュックを担い40キロくらい歩かせ根性を育てる。これが一般の大学と違います。リーダー役を担うための重要な訓練です。苦しい時に我慢して自分の体力を極限まで使って頑張る。どうしたら部下がついてこられるかを教育しています。

そこまで厳しくなくともきちんとしたリーダーが一般の大学でも育ててもらいたいという気がします。

西原 一般の大学でもクラブ活動や自治会など何人かリーダーがでてくる組織がありますが、防衛大学校はリーダーを育てるためのしくみを作ります。たとえばある行事を行う場合、そのための実行委員会を作って実行委員会で計画立ててみんなに仕事させるような訓練を何回もやります。防大を卒業すると計画を立てるのも実行に移すのもうまい。昔、夏の間防大生が混じったグループが海外旅行に行き飛行機が故障でどこかの空港に降ろされて相当混乱していた時、防大生がお客を分けて誘導するのを手伝い、感謝状をもらって来たそうです。日頃の成果で比較的その程度は楽にできるようです。

■ 防衛大学校の国際的な取り組み

防衛大学校での「国際」に関する取り組みについてお話いただけますか。

西原 第一に、防衛大の学生は毎年460人ほど入学します。四年制教育ですから1800人くらいがいます。それ以外に留学生が現在8カ国から63人きています。韓国・ベトナム・モンゴル・フィリピン・タイ・シンガポール・インドネシアなどアジアの国が多いですが、ルーマニアからも来ています。留学生が多いので学生の国際理解に非常に役立ちます。全員寮住いですから近くに誰か留学生がいる。留学生は来日時、日本語がほとんどできませんが、最初1年間は朝から晩まで日本語ばかりを勉強し日本語修得を原則としています。寮に帰ってからも日本語が聞こえますから、とてもいい勉強になるんですね。1年間経た後普通の授業に入るので、留学生は5年大学にいないといけない。他の学生とチームワークが必要になり、様々なことを一緒にやりますから、非常に厚い友情ができる。また、留学生は防衛大学校を卒業すると本当に日本語が上手です。タイ人は一番古くもう100人以上OBがいますから、バンコクに防大卒業生のOB会がある。シンガポールにもできたようです。

第二に、全学生が英語の能力測定試験を国費で受験します。ですから英語の重要性を学生は分かっています。ただ、米国留学する際にはTOEFLの試験を受け直しています。その点数を報告しなくてははいけません。英語のテストをやるときは学生間で競争です。学生全部を450人くらいづつ4つのグループ(大隊といいます)に分けて競争させ、どの大隊が勝ったかが分かるようにします。また3年生になると、1割くらいの優秀な学生を海外の士官学校に2週間くらい送ります。これは勉強や訓練をちゃ

んとやれば選ばれるんだよということです。逆に学生には大変なプレッシャーです。米国、フランス、ドイツ、イタリア、韓国、オーストラリア、シンガポール、タイ等の士官学校へ2~3人ずつチームを作って2週間くらい送っています。今年2月に初めて一人を韓国の空軍士官学校に1年間送っています。また海外のさまざまな士官学校から防衛大学校に短期間来るケースも多いです。10月の始めには韓国から10人位来ます。それで来たときには1週間とか2週間いますから、防衛大の寮に他の学生と一緒に生活をしてもらいます。それからいろんな授業なんかも参観してもらったりします。次に学生が主体ですが、年1回14カ国の士官学校から学生を招いて、国際士官候補生会議 (International Cadets' Conference) を開催します。防大の学生も20名位出て一緒にパネルをやるわけです。他の学生はそれを聞く形で参加できるようにしていますが、これは必ずしもうまくいかない。英語が嫌いだという学生もたくさんいます。聞いても訳が分からないと言います。ただ仕組みは重要です。関係している学生は非常に張り切ってやりますね。実行委員会も学生がやりますし、テーマの決め方も先生を顧問において自分たちで決めます。去年はテロについてでした。PKOについてとか、いろいろなテーマを取り上げます。一般の大学でも国際セミナーがあると思いますが、防衛大学校は全学生が学内の寮に住んでいますから、学校行事としてやりやすいですね。

語学面においてはどうですか？学内のカリキュラムとか、あとは、この講義については例えば英語で行うとか、そういった取り組みはされていますか。

西原 国際理解には英語が非常に重要なコミュニケーションの手段ですから、全員英語ができなくてはならないと強調していますね。でも英語での授業はまだやっていません。やろうと思えば英語でできる先生は何人かいますので、授業を是非英語でやってくださいとお願いしています。ただクラスのほとんどが日本人で留学生は少しです。日本語でコミュニケーションできるのにわざわざ英語で話すのは恥ずかしくてできませんという先生が多い。その点難しいですね。英会話の時間だけは横須賀米海軍基地の将校夫人に非常勤講師として全部で10人くらい来てもらっています。1年生は全員英語が必修です。それ以外に英会話も3年生から全員必修ですがあまり伸びません。

私は学校長として学生には「君たちは卒業するまでに少なくとも2回海外旅行に行くように」と言っています。学生は給料をもらっているからです。卒業までの4年間で海外に行くのは40%くらいでまだ少ない。2~3回行ったものは多いんですよ。でも全体の数がまだ少ない。全員に2回は行きなさいと言っている。行けばいろいろ刺激を受けますし、英語もやらなくてはと思うでしょう。また日本の見方も変わるでしょうが残念ながら強制はできません。

普通の大学生なら、授業をサボってもいいから2ヶ月くらいどこか海外を周ってこようとか、割合のんびりと自分の計画を立てられるかもしれません。あるいは卒業を1年遅らせても中東を何ヶ月か周ってこようという計画を立てる学生が出てくると思いますが、防衛大学校ではこれは許されません。そうなったら退学です。防衛大学校の4年間で可能なケースは次の通りです。卒業するまで何回か海外旅行する、英語を勉強し外国人から英会話習って刺激を受ける、3年生で学校から派遣されて外国士官学校へ行く、学校主催の国際士官候補生会議に代表として出る。このような経験を持った人たちは成功しています。今の自衛隊がPKOに行くとか海外に出ることになったら本当に英語をやっておかないと昇任にかかってきます。

どこの国に行くのでもその国の言葉が話せればいいですが、英語は共通語ですね。

西原 PKOではいろんな部隊と一緒に仕事をするわけです。非常に重要なのは、その人たちとの接触ですが、これは英語です。英語はやっておかないとダメです。

英語は目的じゃなく手段ですから例えば体育を英語でやるというわけにはいかないでしょうか。

西原 我々が「君たち卒業して自衛隊の幹部になったら絶対に英語は重要だということになりますよ、今のうちやっとくべきだよ」と言ってもピンとこない。その時にならないと人間は概して理解できません。英語の先生は授業の中で英語をかなり使ってやっていますが、例えば政治学や経済を教えるのも英語でやるべきなんですけど、先ほど言ったようになかなか難しい。多くの教官が留学経験を持ち、その中に英語で授業ができる人がいるのですけれどもね。

現在はインターネットの普及により資料を英文で読む、あるいはイメージするところを英語で書くことを要求されることが多くなりました。話す重要性もあります。TOEFLはライティングが入ったり、2004年には音声で聞いたことを要約して話すスピーキングが導入されたり、読む、聞く、書く、話すという総合的な英語の力を試すという形にテストがシフトしてきています。急に2004年に導入されると、現在の日本の大学生には厳しいと思います。今現在そういう教育がされていれば別ですが、西原先生がおっしゃったように英語で授業されるケースは留学生がいる場合を除いて結構少ないです。

西原 留学生がいれば、日本語でやってもなかなか留学生が理解できないから仕方なく英語でやるという先生がいます。大学より大学院の方で英語で授業をやらざるを得ない、というのを割合聞きますね。

防衛大学校は理工系の大学院が付設されており、社会科学系の総合安全保障研究科もあります。毎年20人くらい採ります。2年のコースですから防大に40人前後いますが、そのうちの20人のうち17人とか18人とかが防衛大出身です。2、3人が防衛庁のcivilianとかそれから、他の機関からです。留学生が一人か二人（韓国とカンボジア）きています。

我々ももう少し国際的になって、英語でも授業やりますと言えればいいのですが。将来は研究科の授業の2つくらいは英語でやりたいですね。

■ 防衛大学校卒業生へのメッセージ

最後に卒業生へのメッセージをお願いいたします。防衛大学校を卒業すると基本的に自衛隊の幹部になることを考えると、自衛隊の国際化についてのご意見でも結構です。

西原 防衛大学校の卒業生は大半が自衛隊幹部であり、自衛隊の国際的役割がますます拡大しています。現在、東ティモールに700人くらいPKOで行っています。それからインド洋に船が5隻行って1000人くらいが乗っています。合計1700人の人を海外に出しています。700人や1000人出すと、国内の自衛隊2000人によるバックアップが必要です。交代要員の訓練が必要ですし、資材が必要だとそれを送らないといけませんから、準備や相当な組織をそのために構築しなければなりません。英語の知識と国際問題への理解の必要性がますます拡大していきますね。だから防大の卒業生への期待のひとつは国際的役割に従事できるような人間にならなくてはならないということです。

もうひとつは最初にも言いましたように、社会が急激に変わる、自衛隊のニーズも変わっていくという中で、柔軟な思考力を持って対応できることです。例えば、日本の自衛隊は陸・海・空ありますが相互にもっと協力してやっていかなければなりません。新しい時代はもっとそうです。アメリカの軍隊はバラバラですが、いざ湾岸戦争やイラク戦争になると、三軍のコーディネーションが非常によくできていて統合した指揮のもとにいけるんです。日本の自衛隊はまだそういう訓練が十分にできていないと思います。保守的な考え方でなく、新しい時代はこういうふうには部隊を動かしていこうという柔軟な発想が必要だと思います。

柔軟な思考力を持つことは「言うは易く行うは難し」だと思います。人間は本来保守の型にはまっていた方が楽だし、そこから流されないようにしている方が楽です。柔軟な思考力をどのようにして養うべきだとお考えですか？

西原 ある問題を与えられた場合、複数の解決方法を常に考えていることです。選択の幅、オプションはいくつあるのだろう、と。だれかがオプション1、一解決方法を示したら、それ以外にもこれだけあると常に考えられるようにすることが必要です。昔からこうやってきたからこれしかないというのは保守的です。どうしても我々そうなりがちですがそれだけだと停滞します。日本社会の経済問題の解決なども、みんな保守的です。新しい解決方法でやりましょうという意欲がなく、つつい保守的になり、新しい方法でやることは心配だから、やっぱりやめときましょうとなる。

だからリーダーが保守的だと下はそれに従ってしまうので、なかなか超えられない。リーダーが柔軟な思考を持って率先し、その新しい考え方を取り入れてあげるとというのが非常に重要かなと思います。本日はどうもありがとうございました。

(インタビュー：TOEFL事業部 高田 幸詩朗/2002年10月1日)

英語に限らず外国語を学習していると、言葉の世界の奥深さに気付かされます。古来の日本人は言霊（ことだま）と評して、言葉には霊が宿り、見えざる力を働かすのだと考えました。使い慣れた短いフレーズの中にもコミュニケーションを左右するほどの力があるのです。ご好評頂いている連載「言葉の玉手箱」では、ETS公認コンサルタントの川手 ミヤジェイエフスカ 恩先生が、異文化間コミュニケーションにおける言葉の使い方の重要性に焦点をあて、興味深く解説してください。言葉の世界の面白さをお楽しみください。



Dr. 川手 ミヤジェイエフスカ 恩（めぐみ）
（テンプル大学ジャパン集中英語課程 助教授）
(Megumi Kawate-Mierzejewska, Ed.D, Temple University)

【経歴】

2000年より、ETS公認コンサルタントを務める。

専門：中間言語語用論（Interlanguage Pragmatics）

第3回： "We should get together." "When?"

アメリカ英語母語話者によってよく使われる 'We should get together' という表現は、英語を母語としない英語話者を惑わすことが往往にしてあるようだ。皆さんも、一度といわず何度もこの表現を耳にして、予定をあけて連絡を待っていたのに結局なんの連絡もなかった、なんて経験はないものだろうか。今回はこの形式的な表現についてもう少し探ってみようと思う。

筆者がとあるアメリカの大学で寮生活をしていた頃、日本文化に大変興味を持っていた寮長がよく 'We should get together' という表現を使った。ちなみに、この寮長は筆者と同じ年で背が高くブロンドの好青年だったので、初めのうちはいつ実現するのだろうか楽しみにしていた。ところが、いつまで待っても実現しないので、ある時筆者は寮長が 'We should get together' と言った直後に 'When?' と聞いてみた。返ってきた返答は '...sometime in the near future' というものであった。そこでまず思ったのは 'sometime mmm ... ということだろう...いつか...とは' と。そして更に '近いうちにとってことなのかしら' と。結局、実現することはなかったのであるが。



この表現に纏わるこんなエピソードもある。筆者の友人はホストファミリーが別れ際に言った 'We should get together again' という言葉を真に受けて一週間ほど待っていたが何の連絡もなかったので、果敢にも電話をかけて 'When?' と聞いてみたらしい。返ってきた答えは 'I'll give you a call' というものであったという。そこで彼女は電話を待っていたが、結局かかってこなかったというものである。

考えてみれば日本語にも「じゃあ近いうちにまた。」という形式的な表現があり、それに対して「いつ？」と対応することは殆どなく、友達との別れ際であれば「オッケー、じゃあね」、何かの話のついでであれば「そうね」くらいで聞きながしてしまうだろう。「いつ？」と聞き返されても困ってしまい、「また電話するわ」くらいでうっちゃっておくこともあるようだ。


さて 'We should get together' であるが、どうやら、期日をきちんと限定していないときは、この言いまわしは形式的な表現として（一種の社交辞令なのだろうか）使われるようだ。つまり、アメリカ英語母語話者間では「じゃあ、近いうちにまた（機会があったら）」くらいに解釈され、その時 'When?' と聞き返すようなパターンはないようだ。要するに、母語話者間ではそれが暗黙のうちに理解できているということなのであろう。

川手 恩 テンプル大学ジャパン

一般にTOEFLの受験者は海外留学を目指してTOEFLを受験する方が多いのですが、今回の受験生は、純粋にご自身の英語力を測る目的でTOEFLを受験されています。けれどもやはりその先には日本を飛び出し、海外へはばたく夢をしっかりと持っていらっしゃいました。目標に向かって一步一步チャレンジを進める彼のバイタリティに眩しさを感じながら、インタビュー時間はあっという間に過ぎていきました。

受験者データ

名前：	匿名希望
年齢：	29歳
性別：	男性
ご職業：	外資系金融機関
CBT受験回数：	5回
将来の夢：	海外にてホテル経営
インタビュー日：	2002年9月4日(水) CIEEレセプションにて
日	



- 『将来の夢』にホテル経営と答えていただきましたが、ホテルにお勤めされていたことあるのですか？

いえ、大学卒業後にカナダのホテルでアルバイト経験したことがありまして、そこは非常に小さな宿みたいところだったのですが、お客さんと接していると自分も旅行をしているような気分になれて・・・。旅行をしている人は皆、浮き浮きしているんですね。現在は会社員として勤めておりますが、将来は自分のホテルをもって旅行者と常に接していたいと思っています。

- 夢の実現のためには、やはり英語習得が必須だと考えていらっしゃるのですか？

そうですね、『英語』にこだわるわけではないのですが、やはり世界共通語として捉えられていますし、『英語』をつかって多くの国の人々とコミュニケーションがとれるのは、素晴らしいことです。ただ通勤時間に、英字新聞を開くようにはしていますが、簡単に眠ることができるぐらいの効果しかありません(笑)

- 英語を会社で使うことは？

ワーキングホリデーの経験があったのですが、やはり時間が経つとすっかり忘れるみたいで、今は海外の来客にもおびえる日々です。ただ、メール、FAXなど『書く英語』はよく使います。聞き取りに自信がないので、なるべく、ラジオやDVDなどで英語の音にふれるようには心掛けていますが・・・。集中しないと入ってこないような状況です。

- TOEFL受験の理由は？

たまたま会社の友人で海外留学を希望している人がいて、その友人の影響で一念発起しようと思ったのと、『会社』でも『自分の夢』でも英語が必要だと認識しました。そうすると自然といま、自分に必要なものは何かという結論に達しました。英語力を測る意味でCBT受験をしています。初めて受けたときはちょっと正直疲れましたね。あまりにも難しすぎて。特にリスニングは、全く聞き取れないんですよ。恥ずかしいのですが。いつのまにか、画面を見つめながら答えを想像している自分がいました。もう何回か受けてみて、目標のスコアを越えたいです。

- 英検やTOEICではなく？

そうですね。英検・TOEICともに海外へ行く前によく受けていましたが、ある程度スコアが固定されてきて、落ち着いたというのも変ですが、今はTOEFLにチャレンジしています。受験料が高いために、計画を立てて受けようという気持ちにもなります。あと、社会人の方をよくテスト会場でみかけることも励みになりますので。

- 最後に2004年からスピーキングセクションの導入に関して一言ありますか？

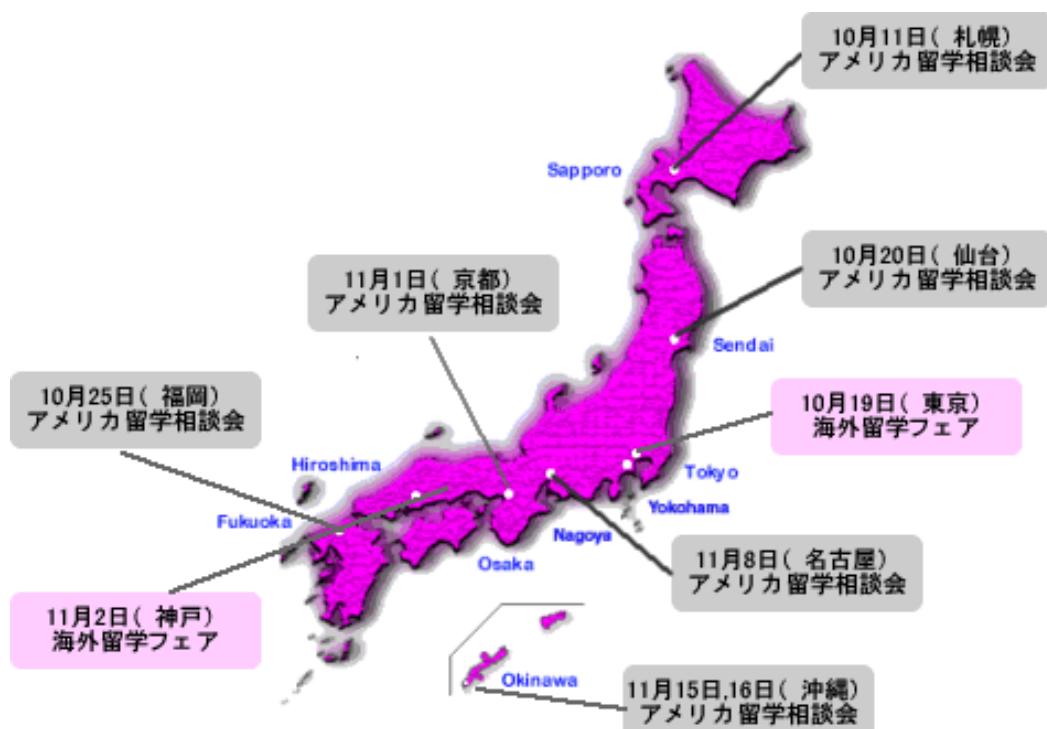
スピーキングが導入されるのは知りませんでした。日本人は日本語でも自分の考えを声に出して発表する練習をしていませんので大変には違いありませんが、これからは必要なことでしょうね。

- 本日は突然のインタビューに応じていただきありがとうございました。

(インタビュー：TOEFL事業部 渡邊伸雄)

今秋、国際教育交換協議会TOEFL事業部では、財団法人日本国際教育協会(AIEJ)主催の海外留学フェア(東京・神戸)および、日米教育委員会(JUSEC)主催のアメリカ留学相談会(全国6都市：札幌・仙台・名古屋・京都・福岡・沖縄)にて、TOEFLセミナーを開催致しました。2002年5月30日以降、一部コンピュータ版TOEFLテストセンター閉鎖、ペーパー版TOEFL代替実施など目まぐるしく環境変化があったにもかかわらず、海外に夢を馳せる受験生は、常に前向きでTOEFLに関する情報収集に取り組んでいました。TOEFL事業部では、TOEFLセミナーにていただいた質問を紹介するとともに、各地域の様子などをレポート致します。

TOEFLセミナー実施会場



10月11日(金)、札幌にてスタートを切った日米教育委員会主催のアメリカ留学相談会、コンピュータ版TOEFLテストセンター閉鎖による受験生の戸惑いは隠せなかったようですが、セミナーに参加した方々は真剣にETS公認コンサルタントの説明を聞いていました。

- Q. 今後、北海道ではCBTテストセンターは復活しないのですか？
- A. 残念ながら、2002年5月30日をもって閉鎖になったテストセンターの復活の予定はありません。閉鎖になった地域のうち札幌、仙台、広島、福岡、沖縄に関しては、[こちら](#)の「JAPAN」にペーパー版TOEFLの実施予定表が掲載されております。アップデートも頻繁に行われているので、チェックを心掛けてください。
またPBTは、申込をされても希望日に受験ができる保証がございません(会場のキャパシティの問題などによります)。
希望大学にスコアを送付しなければならない方は、CBTでの受験を強くお勧め致します(東京3ヶ所、新横浜、大阪)。

Q. TOEFL無料サンプラー(TOEFLセミナー参加者にはコンピュータ版TOEFLに対応したTOEFL無料サンプラーを提供している)以外に、コンピュータ版TOEFL(以降TOEFL-CBT)に対応している教材はないのでしょうか？

A. ETS(Educational Testing Service) が作成しているCBT用公式教材は、TOEFL無料サンプラーとTOEFL Powerprep Softwareの2教材になります。
Powerprep SoftwareはWindowsのみの対応となっておりますが、実際のCBTと同じ画面のもと模擬試験が2回分入っております。またListening とStructureセクションでは、他教材にはみられないCAT(Computer-Adaptive -Testing)形式(答えた回答の正誤によって次の問題が変わってくる)が採用されており、試験終了後には、ご自身のスコアを確認できます。CBTに慣れていただくには最適な教材です。詳細は、[こちら](#)にてご確認ください。



11月1日(金)、京都にて行われたTOEFLセミナーで目立った点は、高校生の親子連れの姿が多く見られたことでした。日本においても、高校生の受験者が増えてきていることが実感できるセミナーとなりました。

Q. TOEFL受験の身分証明書として学生証は認められていますか？

A. 残念ながら、現在の規定では学生証のみでは受験できません。運転免許証と学生証の2つが揃って身分証明書として認められます。また有効期限内のパスポートを保有していれば、パスポートのみで受験できます。
詳細は、[こちら](#)にてご確認ください。



11月15日(金)、16日(土)、沖縄にて行われたTOEFLセミナー、県として英語教育に力をいれている沖縄県、CBTテストセンター閉鎖直後に、どこの県よりも早く代替PBTを実施したことから、TOEFLに対する熱い思いが伝わってきました。受験生にとって、試験を受けやすい環境を作ることが、如何に重要であるかを改めて認識しました。



10月20日(日)に仙台にて行われたアメリカ留学相談会 TOEFLセミナー、仙台でのTOEFLセミナー開催は初めてとあって、事前登録者も約100名という盛況ぶりでした。参加者の皆さんは、熱心にメモをとりながら、TOEFLの説明に聞き入っていました。

(左の写真は、仙台・仙台国際センターで開催されたアメリカ留学相談会におけるTOEFLセミナーの様子)

Q. ETSのホームページ上に掲載されているNext Generation TOEFL ってなんですか？

A. ETSでは、2004年よりNext Generation TOEFLと称して新しいセクション (Speaking)を加えたTOEFLの実施を公表しています。ホームページの情報によると、Structureセクションは無くなっています。
詳細は、[こちら](#)にてご確認ください。





10月19日(土)、東京 11月2日(土)、神戸にて開催された海外留学フェアには、外国人留学生統一試験の廃止および日本語能力試験の改訂により私費留学生受入れとしての英語試験TOEFLが注目を集めているせいか、中国人の方を中心にアジアの国々からの留学生参加者が多くみられました。

(左の写真は、10月19日(土) 東京・国際交流会館で開催された海外留学フェアにおけるTOEFLセミナーの様子)

Q. TOEFL-CBT受験に際して、支払方法に関して困っています。
どうしても、留学生だとクレジットカードを持っているケースが少なく、国際郵便為替で支払いたいのですが、どうすればよいのかいまいち分かりません。国際郵便為替の支払方法を教えてください。

A. 支払方法につきましては、[こちら](#)をご覧ください。



北は札幌、南は那覇まで日本各地にて実施したTOEFLセミナー。受験生の立場にたったとき、地域によってTOEFL受験までの過程に大きな差があることを実感した。TOEFL事業部では、今後CBT・PBTを問わず申込方法などの情報周知の徹底をはかるとともに、参加者にとってTOEFLセミナーが有意義なものになるよう質問時間の延長・PBTに関する

最新情報(これまでTOEFLセミナーではCBTが中心になっている)の提供を行って参ります。来年1月22日(水)に2003年度の最初のTOEFLセミナーを開催致しますので、ご興味のある方は是非参加して下さい。

(このセミナーはすでに終了いたしました。)

ご協力頂いた団体 (以下、順不同)	
日米教育委員会・教育情報部	財団法人 日本国際教育協会
財団法人 札幌国際プラザ 市民交流課	財団法人 仙台国際交流協会
財団法人 名古屋国際センター	名古屋アメリカン・センター
財団法人 京都市国際交流協会	財団法人 福岡県国際交流センターこくさいひろば
福岡アメリカン・センター	財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団 語学センター
琉球大学 留学生センター	

[Back to Top](#) 

『変わる英語教育 - その現状と課題』

CIEE TOEFL事業部では、7月に東京で好評を博したTOEFL-ITPセミナー「変わる英語教育 その現状と課題」を全国展開すべく、TOEFL教育者セミナーシリーズとして、札幌(10月11日)・大阪(10月18日)・福岡(10月25日)・名古屋(11月9日)の4都市において開催いたしました。各地域の大学・高等学校の英語科教員の先生方や教育機関の関係者など、熱心な参加者の皆様の英語教育に関する情報交流の場として有意義にご活用いただけたのではないかと思います。前号の札幌・大阪セミナーに引き続き、今回は名古屋・福岡でのセミナーについて報告いたします。

【福岡】

日時： 平成14年10月25日(金) 18:30~20:30

場所： アクロス福岡 607会議室

内容： 大学におけるTOEFL-ITP(団体向けTOEFLプログラム)導入事例発表

【事例発表】

TOEFL-ITPのプレイスメントテスト等としての利用事例
発表者： 西南学院大学 文学部 教授 古屋 靖二氏

2002年度 TOEFL-ITPセミナー事例発表報告

国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部

次世代TOEFLについての最新情報

ETS公認コンサルタント： 椿 まゆみ 氏

後援： 財団法人 福岡県国際交流センター こくさいひろば
日米教育委員会

■ 【事例発表】 TOEFL-ITPのプレイスメントテスト等としての利用事例
発表者： 西南学院大学 文学部 教授 古屋 靖二氏

西南学院大学文学部英文学科では、英語運用能力向上を目的に1998年度より能力別クラス編成を導入し、そのプレイスメントテストとしてTOEFL-ITPを利用されています。世界各国の大学と交換留学協定を結び、30年以上の長きにわたって国際的な学術交流のネットワークを培われてきた同大学では、英語圏への協定校派遣留学の一次選考としてもTOEFLスコアを課されています。大学で実施するITPスコアでも出願できることから留学促進にもITPは活用されています。今回のセミナーでは、これらITP利用の目的と実施状況、今後の課題などについて、実際の学生達の意識調査など興味深いデータも交えながらご発表いただきました。

九州地区では教育者対象のTOEFLセミナーは初めてとあって、近隣の大学・高等学校はもとより熊本や長崎からも参加者が集まり、事例発表や次世代TOEFLの最新情報に熱心に聞き入っておられました。



【名古屋】

日時： 平成14年11月9日（土） 13:30～15:30

場所： 名古屋国際センター 第4・第5会議室

内容： 大学におけるTOEFL-ITP導入事例発表

【事例発表】

岐阜大学でのTOEFL-ITP利用について

発表者： 岐阜大学 医学部 教授 江崎 孝行 氏

次世代TOEFLについての最新情報

ETS公認コンサルタント： 川手 ミヤジェイエフスカ 恩 氏
(テンブル大学 集中英語課程助教授)

共催： 駐名古屋米国領事館

名古屋アメリカン・センター

後援： 財団法人 名古屋国際センター

日米教育委員会

■ 【事例発表】 岐阜大学医学部でのTOEFL-ITP利用について

発表者： 岐阜大学 医学部 教授 江崎 孝行 氏



岐阜大学医学部では、1996年より医学部の専門カリキュラムの中で実用的な英語教育を取り入れられ、成績判定の一基準としてTOEFL-ITPを導入されました。医学部という特殊な進路の学生の英語教育についてのご苦労や創意工夫の経験談として、実用的な英語力養成のために、授業の教材にアメリカの救急医療現場を題材にした大ヒットドラマ「ER」を取り入れるという学生への動機付けに配慮した試みで成果を上げておられることもご報告いただきました。

医学部でのITP利用事例発表は、本年7月東京で開催したTOEFL-ITPセミナーにおける東京医科歯科大学に続いて2件目となりますが、導入されたのは岐阜大学医学部の方が2年程早く、TOEFLでの評価も試行錯誤の上、定着されているようです。参加者の中には医科大学で英語教育を担当される先生方も何名かいらっしゃいました。2004年以降の次世代TOEFLに興味を持って集まれた方も多く、Speakingも導入されるTOEFLの新しい形式に参加者からも多数質問が寄せられました。



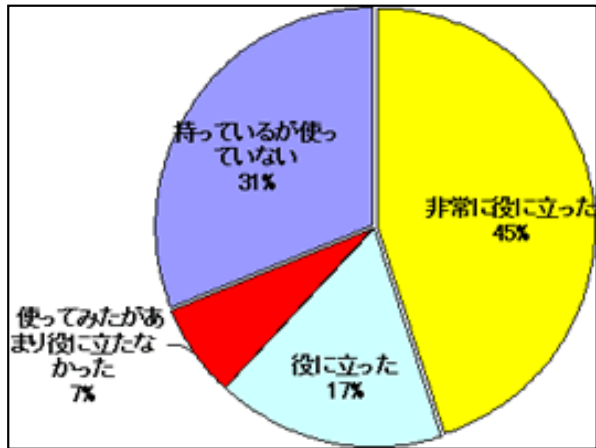
CIEE TOEFL事業部ではTOEFL日本事務局として、これからも日本の英語教育になお一層TOEFLをお役立ていただけるようさまざまな企画を実施してまいります。ご案内は、TOEFLメールマガジンとCIEEホームページに掲載いたしますので、読者の皆様も機会がございましたらぜひご参加ください。

TOEFL CD-Sampler アンケート報告

TOEFL事業部では、月に2度東京(青山)にて行われているコンピュータ版TOEFL定例セミナーの際、また日本各地で開催されたTOEFLセミナーにご参加頂いた方がたに、TOEFL CD-Sampler(定価\$ 18：サンプル問題67題含む)を無料にて配布しております。
 この度、CD-Sampler保有者733名のご協力のもと、このCD-ROMに対する率直な感想を以下にまとめてみました。
 まだお手元にTOEFL CD-Samplerをお持ちでない方は、是非、ご参考にして下さい。

■ TOEFL-CBT Samplerのご感想について (1つだけ選択) 対象者 733人 ■

TOEFL CBT Samplerのご感想について (1つだけ選択) 対象者 733人	
非常に役に立った	332人(45%)
役に立った	124人(17%)
使ってみたがあまり役に立たなかった	50人(7%)
持っているが使っていない	227人(31%)



■ コメント(一部抜粋) ■

Samplerのセクションに対するコメント

- ・ 画面全体ではないのでなんとなく見えにくい感じがしてしまう(字が小さくて見にくかった)。特にListeningセクションに関しては音が悪い気がした。
- ・ Listeningは声が聞き取りにくい。
- ・ Listeningが途中で止められないのが辛い。一つのリスニング問題づつ選択して聞けるようにしてほしい。
- ・ Listeningのみ使用。TOEFL対策学校で模擬として試したことがある。

Sampler全般に関するコメント

- ・ Tutorialが本試験と同じだったので落ち着いて本番に臨むことができてよかった。
- ・ コンピュータのHOW TOは非常に分かって良いのですが、問題が少ない。もう少し量をふやすべきだと思います。

- ・本番でもTutorialを真剣にしすぎると目が疲れてしまって損になるかなと思いました。
- ・一連の流れやスピードが把握できたので参考になった。
- ・まだ実際の試験を受験したことはないが、家庭のパソコンで実体験ができた。試験会場でPCの画面中に書かれた文字(問題文)を見て驚くことなく、臨めると思います
- ・試験準備というよりも、地質学など今まで考えても見なかった分野を英語で勉強するチャンス을いたただき、ありがとうございました。先日、センター試験を受けた人が英語の長文の問題で新傾向だと青くなっていた問題が、TOEFLの問題にそっくりなので、ビックリしました。すなわち、中文があり、ところどころ、文と文の間に問題番号が入っていて、選択肢の4種類の英文がそれぞれどこに入るべきか、という問題でした。いずれ、センター試験も、CBTのようになっていくのでは、という予感を感じました。
- ・CBT導入時の案内としては非常に役に立った。ただし、近年、CBTのリスニング問題の難化傾向にあるなど、難易度が変化している現在では、変化していく難易度を反映した教材が定期的に発売されることを望む。CBT対応である教材は少ないため、引き続き、CBT対応という点は変更しないでほしい。やはり問題数のサンプルが多くほしい。
- ・知人の依頼でTOEFLの資料を購入し、差上げました。日本の企業について、2年前の時点で調べた時には海外に進出している会社(トヨタ、ホンダなどの自動車会社のほとんど全部、ソニー、日本IBM)はTOEICを採用していました。数社とコンタクトしましたがTOEFLについての知識が不足している会社ばかりでした。TOEFLについて、正確で詳しい情報が日本企業に充分提供されることを希望しています。有力企業がTOEFLの良さを理解し、社内での英語能力チェックの為にTOEFLの模擬試験を採用することが実現できればと思います。
- ・特にありません。ただ一つ言うとすれば、使いやすいです。
- ・本番さながらで感触をつかめるのはとても良いと思いました。私はまだ、CBTは受けたことがないのですが、本番の様子はいつもこのサンプルでイメージトレーニングをしています。とっても、役に立っています。CBTに変わってから、PCを使うということもあり、PBTとは、様子が全く変わったと聞きました。サンプルで感じをつかみ、本番に望めば、きっといつも通りにできると期待しています。
- ・TOEFL自体、受けるのが初めてだった上に今まで勉強していた形式からコンピュータ化されとても不安でいっぱいでした。留学するまでもう数回しか受験できないという焦りもありました。しかし体験CD-ROMのおかげで、TOEFLのテストだけに集中することができて、思ったよりいいスコアをとることができました。とっても役に立ちました。ありがとうございます。
- ・実際にコンピュータのテストはペーパーのテスト教本では補えない部分が多いと思います。聞き取りも早さ、長さが違うし、読解問題では、コンピュータ画面を見ながら回答するのは集中力がペーパー以上に必要のような気がします(特にPBTからCBTに移り変わったときは戸惑いました)。
- ・本番で慌てずに、試験が受けられました。初めて受ける時の不安を取り除いてくれるという点で、とても役に立ちました。
- ・事前に内容を知ることができて、安心して受験する事ができました。
- ・一度問題を解いた後、間違っただ点を見直すのに、とても役に立った。クリックするだけで音声も出るので、市販のものより便利だった。
- ・書籍だけの勉強はやはり限界がありました。特にReadingは、Samplerですぐに慣れることができると思います。

【日本全国にて実施されているTOEFLセミナー】



(左の写真は、本年度6月に同志社大学にて行われたセミナーの様子)

TOEFL事業部では、今後もTOEFL関連セミナーを実施していく予定です。詳しくは、CIEEのホームページ上で随時ご案内していきます。

TOEFL CBT Samplerの特徴

実際の試験と同じTutorial セクションを含む
67題の練習問題
Windows/Macintoshの両方に対応している

